

## 令和5年度第2回学校運営協議会 議事まとめ

熊谷市立三尻中学校

- 日時 令和5年11月9日(木) 12時55分から16時30分まで
- 会場 三尻中学校図書室
- 出席者
  - (委員) 阪本真由美委員(本校PTA会長) 田沼亮介委員(学区内小学校PTA)
  - 柳澤一正委員(三尻連合自治会長) 藤野和夫委員(籠原連合自治会長)
  - 茂木典夫委員(学区内青少年健全育成会) 根岸巳代子委員(民生児童委員)
  - 茂木照司委員(学識経験者)
  - (職員) 田沼良宣(校長) 新井美保子(教頭) 松浦達也(主幹教諭)

### 3 協議

#### (1) 研究(文部科学省「教育課程特例校」指定)の推進について

資料 「令和5年度 本校の教育課程」

- ・この取組はいつから行っているのか。また市内だけなのか。昨年度から三尻中学校のみ実施している。
- ・取組の評価はどう行うのか。各種学力調査やアンケートで行う。
- ・5教科の授業時数が減るので子供(本校3年在学)の学力が落ちると思ったが、各種テストで学力の向上が見られた。子供は総合的な学習の時間を通して、よく読み、話し、書く機会が増え、結果として学力向上につながったと答えていた。
- ・生徒は勉強によく取り組んでいる。生徒は自分がどれだけ伸びたのか自覚しづらいから、先生方から伝えてあげてほしい。主体的に取り組むには、自己肯定感が大切である。

#### (2) 学力の現状について

資料 「学力の現状について」

- ・二期制が学力向上にどう反映されているのか。授業時数の確保や、夏休み前・前期終了・冬休み前・後期終了時にポートフォリオで生徒自身に学習した内容を振り返らせ、学習の見届けを行っている。
- ・通塾調査は行っているのか。以前は調査を行っていたが、現在は行っていない。塾と学校がともに手を取り合い、生徒の学力を伸ばしてほしい。そのためにも通塾調査を行った方がよい。

#### (3) 前期学校評価について

資料 「令和5年度 前期評価(集計)」

- ・教員による自己評価か。全教員が各観点に沿って自己評価を行っている。
- ・ローテーション道德とは何か。担任・副担任の枠を越えて、所属学年の教員が各クラスで授業を行っている。
- ・学びボードは誰が書いているのか。各学級の教科係が行っている。
- ・自己評価の内容について職員間で検討することで、来年度以降の教育的効果の向上につながる。

(4) 来年度以降を見据えた改定等について

① 行事検討委員会

② 制服検討委員会

資料 「熊谷市立三尻中学校新制服デザイン作成等事業者募集要項」

③ 校則改定に向けた取組

資料 「校則改定に向けて」

- ・令和4年度から丁寧に取り組を進めているのが評価できる。SUNフェスタ等の学校行事に対して、生徒は意欲的に取り組んでいる。生徒が前向きな姿勢な時期の校則改定は、適切である。
- ・生徒の髪型にきまりはあるのか。校則には、中学生らしい髪型と明記している。判断に難しい髪型については個別に対応している。
- ・生徒が考えた校則改定案について学校側は検討するのか。生徒が出した案を職員会議で検討し、生徒に再度提案している。生徒の意見を取り入れる形で進めていきたい。校則改定に向けて、学校側は生徒と合議制で進めてほしい。

記録 三尻中主幹教諭：松浦達也